



# 武蔵野市

武蔵野市は、都心から約20km西方にあり、東京都23区と多摩地域をつなぐ位置にあります。かつては、人々の生活と農地、屋敷林・雑木林が溶け込む風景が広がっていました。戦後の人口増加に伴い、住宅地が増加し、全国でも人口密度の高い都市のひとつとなりましたが、現在でも歴史を感じる緑や水辺が見られるなど、多様な緑を有しています。

## 道路の緑

サクラ並木などの街路樹は、**自然樹形(※1)**を大切に維持管理を行っており、低木や地被・花などとともに緑豊かな街並を形成しています。また、定期的に樹木医による診断を実施し、更新や定期的な点検・剪定を行い、保全を進めています。道路整備の際には、新たな緑を創出し、美しい道路景観と緑のネットワークづくりを進めています。



境南通りのケヤキ並木



中央通りのサクラ並木

(※1)自然樹形とは、それぞれの樹種が本来もっている樹形のこと。本市ではこの自然樹形を極力活かした剪定を行っています。

## 住宅地の緑

武蔵野市の大部分を占める住宅地は、花や庭木が植えられ、暮らしている人々の温かみを感じることができます。緑豊かな街並づくりとして、道路に接する部分に新たな緑化を行う際の助成やお子さんの誕生・新築を記念する苗木の配布、保存樹木所有者に対する維持管理の支援などにより緑化を推進しています。



住宅の緑で彩られている良好な街並み



ベランダの花と緑によって形成された良好な街並み

## 「緑の基本計画2019」中間まとめを作成しました！

武蔵野市では、令和元年から10年までを計画期間とする「緑の基本計画2019」を策定し、緑豊かなまちづくりを推進しています。この度策定から5年が経過することから中間まとめを作成しました。施策の実施状況と社会的動向などの整理、課題の把握を行い、計画後期の取り組みの推進につなげます。

武蔵野市公式ホームページ  
からご覧いただけます

武蔵野市 緑の基本計画



日々の暮らしの中で緑を楽しもう！  
武蔵野市緑の基本計画2019 中間まとめ

### 1 中間まとめについて

